

日本聖公会「原発のない世界を求める週間」

2021・6・6～6・12

『原発はやめようよ』プログラム 式文

この祈りは、「原発のない世界を求める週間」を通して用いる。

開会礼拝 5月30日（日） 15：30～

短い沈黙をもって始めます

ともに集う

司式者 みなさん、私たちは2011年3月11日に起こった東日本大震災、そして東京電力福島第一原子力発電所における事故から10年が経った今、私たちが命と向き合うために、共に考え共に悩み、共に祈ろうと集まりました。私たちの歩みを神様の前に差し出し、み旨に適う者へと新しくしてくださるよう共に祈りましょう。

司式者 天地万物を創造された主なる神と主イエス・キリストからの恵みと平和が、皆さんとともに

会衆 また、あなたとともに

悔い改めの祈り

司式者 神はその独り子をお与えになったほどに、世を愛してくださいました。この神の愛に応えるため、自らを省み、ともに罪の赦しを祈りましょう

一同 憐れみ深い神よ、わたしたちは、してはならないことをし、しなければならぬことをせず、思いと、言葉と、行いによって、あなたと隣り人に対して多くの罪を犯しています。どうか罪深いわたしたちをお赦しください。新しい命に歩み、み心に従い、み栄えを現すことができますように、救い主イエス・キリストによってお願いいたします アーメン

とく **とう** **【地球環境のために祈る日特禱】**
司式者 **しゅ** **みな** **主は皆さんとともに**
会衆 **また、あなたとともに**
司式者 **いの** **祈りましょう**

天地万物を創造された主よ。あなたは、すべてのものを造られ、それらをご覧になり『よし』とされ、祝福されました。そして、その管理をわたしたち人間に委ねられました。しかし、東京電力福島第一原子力発電所による災害が示すように、わたしたちはあなたのご命令にそむき、自らの欲望を満たすために自然環境を乱用し、破壊さえしています。今、そのことの故に世界中の多くの人々が苦しんでいます。どうかわたしたちがあなたのご命令に立ち帰り、あなたによって与えられた自然環境を大切に保全し、後（のち）の世代のために残すことができますように。また、原子力発電所による災害など、環境破壊の被害者の苦しみを取り除き、わたしたちの生活を変え、自然と共に生きることができますように。そして、自然を通じてあなたが現されるご栄光を仰ぎ見ることができるようにしてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

司式者 **せいしょ** **ことば** **き** **聖書のみ言葉を聞きましょう**

ふく **いん** **しょ** **福音書**

執事は福音書を歌いまたは朗読する。一同福音書の方を向く。

司式者 **しゅ** **みな** **主は皆さんとともに**

会衆 **また、あなたとともに**

司式者 **せい** **ふくいんしょだい** **しょう** **せつ** **い** **か** **しる** **しゅ** **ふくいん**
聖ヨハネによる福音書第3章1節以下に記された主イエス・キリストの福音。

司式者 **しゅ** **えいこう**
主に栄光

会衆 **しゅ** **えいこう**
主に栄光がありますように

福音の朗読が終わったとき、次のように歌いまたは唱える。

ヨハネによる福音書3章1節～16節

さて、ファリサイ派に属する、ニコデモという人がいた。ユダヤ人たちの議員であった。ある夜、イエスのもとに来て言った。

「ラビ、わたしどもは、あなたが神のもとから来られた教師であることを知っています。

神が共におられるのでなければ、あなたがたのなさるようなしるしを、だれも行うことはできないからです。」

イエスは答えて言われた。

「はっきり言うておく。人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない。」

ニコデモは言った。

「年をとった者が、どうして生まれることができますしょう。もう一度母親の胎内に入って生まれることができるのでしょうか。」

イエスはお答えになった。

「はっきり言うておく。だれでも水と霊とによって生まれなければ、神の国に入ることはできない。肉から生まれたものは肉である。霊から生まれたものは霊である。『あなたがたは新たに生まれねばならない』とあなたがたに言ったことに、驚いてはならない。風は思いのままに吹く。あなたはその音を聞いても、それがどこから来て、どこへ行くかを知らない。霊から生まれた者も皆そのとおりである。」

するとニコデモは、「どうして、そんなことがありえましょうか」と言った。

イエスは答えて言われた。

「あなたはイスラエルの教師でありながら、こんなことが分からないのか。はっきり言うておく。わたしたちは知っていることを語り、見たことを証ししているのに、あなたがたはわたしたちの証しを受け入れない。わたしが地上のことを話しても信じないとすれば、天上のことを話したところで、どうして信じるだろう。

天から降って来た者、すなわち人の子のほかには、天に上った者はだれもない。

そして、モーセが荒れ野で蛇を上げたように、人の子も上げられねばならない。

それは、信じる者が皆、人の子によって永遠の命を得るためである。

神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。

司式者 しゅ かんしゃ 主に感謝
会衆 しゅ かんしゃ 主に感謝します

メッセージ

日本聖公会主座主教 ルカ武藤謙一主教（九州教区主教）

主の祈り

司式者 救い主キリストが教えられたように祈りましょう

一同、主の祈りを唱える。

天におられるわたしたちの父よ、

み名が聖とされますように。

み国が来ますように。

みこころが天に行われるとおりに地にも行われますように。

わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。

わたしたちの罪をおゆるしくください。わたしたちも人をゆるします。

わたしたちを誘惑におちいらせず、

悪からお救いください。

国と力と栄光は、永遠にあなたのもので アーメン

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、わたしたちとともにありますように。アーメン

(Ⅱコリント 13:13)

朝の黙想 8 : 30 ~

【地球環境のために祈る日特祷】

【聖書】ヨハネの黙示録 22 : 1 - 5

- 1 天使はまた、神と小羊の玉座から流れ出て、水晶のように輝く命の水の川をわたしに見せた。
- 2 川は、都の大通りの中央を流れ、その両岸には命の木があつて、年に十二回実を結び、毎月実をみのらせる。そして、その木の葉は諸国の民の病を治す。
- 3 もはや、呪われるものは何一つない。神と小羊の玉座が都にあつて、神の僕たちは神を礼拝し、
- 4 御顔を仰ぎ見る。彼らの額には、神の名が記されている。
- 5 もはや、夜はなく、ともし火の光も太陽の光も要らない。神である主が僕たちを照らし、彼らは世々限りなく統治するからである。

【黙想】

【主の祈り】

コンプリン 5月31日(月) 21:00～

光の源である主よ、この世の闇を照らし、豊かな憐れみをもって、今夜の危険をことごとく防いでください。独りのみ子、救い主イエス・キリストの慈しみによって。アーメン

確かなみ摂理により、わたしたちの生きるこの世界とその生活を支えてくださる神よ、どうか夜も働く人を守り、苦しみ悩む人を慰め、病気の人を強め、死に臨む人に祝福を与えてください。そしてわたしたちの生活が、互いの力によって担われていることを、深く心に刻むことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

慈しみ深い全能の神が、わたしたちを守り、祝福をお与えくださいますように。アーメン

地球環境のための祈り 6月6日(日) 17:00～

閉会礼拝 6月7日(月) 19:00～

ともに集う

司式者 ^{しゅ}主イエス・キリストの ^{ひかり}光と ^{へいわ}平和が、^{みな}皆さんとともに
会衆 **また、あなたとともに**

^{とく}特 ^{とう}禱
司式者 ^{しゅ}主は ^{みな}皆さんとともに
会衆 **また、あなたとともに**
司式者 ^{いの}祈りましょう

天地の創り主である主よ、今わたしたちは東日本大震災の発生から満10年の年を迎え、原発のない世界を求め、共に考え悩み、祈るためにここに集いました。東日本大震災の地震と津波によって、そして東京電力福島第一原子力発電所事故によって大きな苦難を受けた人々のため、そして私たちが歩むべき平和の道を願い祈ります。またその日から今日に至るまで、新型コロナ・ウイルス感染症をはじめ、幾多の災害が日本国内において、また世界の各地で起こりました。その中で犠牲となった人々、また今なお困難な生活が続いている人々のことも思い、祈ります。どうぞあなたの慰めと励ましのみ力がそれら多くの人々の上にありますように。多くの災害とともに、争い、憎しみの絶えることのないこの世界にあって、わたしたちがあなたの創造の美しさを回復させるため、小さな器として用いられますよう、力と導きをお与えください。苦しみ、悩む人々と共に歩まれる主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

ともに聞く

司式者 ^{せいしよ} 聖書 ^{ことば} のみ ^き 言葉を聞きましょう

聖書 (創世記 1章1節－2章4節)

初めに、神は天地を創造された。

地は混沌であって、闇が深遠の面にあり、神の霊が水の面を動いていた。

神は言われた。「光あれ。」こうして、光があった。

神は光を見て、良しとされた。神は光と闇を分け、光を昼と呼び、闇を夜と呼ばれた。

夕べがあり、朝があった。第一の日である。

神は言われた。「水の中に大空あれ。水と水を分けよ。」

神は大空を造り、大空の下と大空の上に水を分けさせられた。そのようになった。

神は大空を天と呼ばれた。夕べがあり、朝があった。第二の日である。

神は言われた。「天の下の水は一つ所に集まれ。乾いた所が現れよ。」そのようになった。

神は乾いた所を地と呼び、水の集まった所を海と呼ばれた。神はこれを見て、良しとされた。

神は言われた。「地は草を芽生えさせよ。種を持つ草と、それぞれの種を持つ実をつけ

る果樹を、地に芽生えさせよ。」そのようになった。

地は草を芽生えさせ、それぞれの種を持つ草と、それぞれの種を持つ実をつける木を芽生えさせた。神はこれを見て、良しとされた。

夕べがあり、朝があった。第三の日である。

神は言われた。「天の大空に光る物があって、昼と夜を分け、季節のしるし、日や年のしるしとなれ。天の大空に光る物があって、地を照らせ。」そのようになった。

神は二つの大きな光る物と星を造り、大きな方に昼を治めさせ、小さな方に夜を治めさせられた。

神はそれらを天の大空に置いて、地を照らさせ、昼と夜を治めさせ、光と闇を分けさせられた。神はこれを見て、良しとされた。

夕べがあり、朝があった。第四の日である。

神は言われた。「生き物が水の中に群がれ。鳥は地の上、天の大空の面を飛べ。」

神は水に群がるもの、すなわち大きな怪物、うごめく生き物をそれぞれに、また、翼ある鳥をそれぞれに創造された。神はこれを見て、良しとされた。

神はそれらのものを祝福して言われた。「産めよ、増えよ、海の水に満ちよ。鳥は地の上に増えよ。」

夕べがあり、朝があった。第五の日である。

神は言われた。「地は、それぞれの生き物を産み出せ。家畜、這うもの、地の獣をそれぞれに産み出せ。」そのようになった。

神はそれぞれの地の獣、それぞれの家畜、それぞれの土を這うものを造られた。神はこれを見て、良しとされた。

神は言われた。「我々にかたどり、我々に似せて、人を造ろう。そして海の魚、空の鳥、家畜、地の獣、地を這うものすべてを支配させよう。神は御自分にかたどって人を創造された。神にかたどって創造された。男と女に創造された。

神は彼らを祝福して言われた。「産めよ、増えよ、地に満ちて地を従わせよ。海の魚。空の鳥、地の上を這う生き物をすべて支配せよ。」

神は言われた。「見よ、全地に生える、種を持つ草と種を持つ実をつける木を、すべてあなたたちに与えよう。それがあなたたちの食べ物となる。

地の獣、空の鳥、地を這うものなど、すべて命あるものにはあらゆる青草を食べさせよう。」そのようになった。

神はお造りになったすべてのものを御覧になった。見よ、それは極めて良かった。夕べがあり、朝があった。第六の日である。

天地万物は完成された。

第七の日に、神は御自分の仕事を完成され、第七の日に、神は御自分の仕事を離れ、安息なされた。

この日に神はすべての創造の仕事を離れ、安息なされたので、第七の日を神は祝福し、聖別された。

これが天地創造の由来である。

司式者 聖書を終わります

メッセージ 日本聖公会正義と平和委員会委員長 主教 ダビデ上原榮正 (沖縄教区主教)

使徒信経

わたしは、天地の造り主、全能の父である神を信じます。

また、その独り子、わたしたちの主イエス・キリストを信じます。主は聖霊によって宿り、おとめマリヤから生まれ、ポンテオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられ、死んで葬られ、よみに降り、三日目に死人のうちからよみがえり、天に昇られました。そして全能の父である神の右に座しておられます。そこから主は生きている人と死んだ人とを審くために来られます。

また、聖霊を信じます。聖なる公会、聖徒の交わり、罪の赦し、体のよみがえり、永遠の命を信じます アーメン

ともに祈る

司式者 救い主イエス・キリストのみ言葉とみ業に頼り、全公会のため、また世界のために、ことに東日本大震災および原発のない世界を求めて祈りましょう

司式者 慈しみ深い神、慰めの主よ、今、わたしたちは 10 年を経た東日本大震災を覚え、また原発のない世界を求めて祈ります。どうか、被災地にある人、避難生活を強いられている人、特に日本社会の中で生きることの困難に苦しむ人、将来の希望を見い出せない人（ことに——）を支えてください

会衆 主よ、お聞きください

司式者 原子力発電所事故により、失われた自然と人々の生活を覚えます。故郷を離れて生活する人、危険な作業に従事する人とその家族をお守りください。そして政治と社会に責任を持つ人々に正しい道を歩ませてください

会衆 ^{しゅ}主よ、^きお聞きください

司式者 わたしたちもまた、これらの苦難をつねに覚えることができますように。日本聖公会の被災者支援の働きを強めてください。そしてわたしたちも思いと力を合わせて、共に歩み続けることができるように導いてください

会衆 ^{しゅ}主よ、^きお聞きください

司式者 自分の十字架を背負って従いなさいと言われた命の主よ、私たちが今回の「原発のない世界を求める週間」を与えられた分かち合いの時、気づき、励ましを感謝します。これからの私たちの日常の中で、また教会生活の中で共に考え悩むことを通して命に向き合うことができますように

会衆 ^{しゅ}主よ、^きお聞きください

司式者 いのちの源である主よ、東日本大震災のすべての犠牲者、そして世界各地の災害と争いの中で生命を失った人々を、あなたのみ腕の中に抱き、永遠の安らぎを与えてくださいますように

一同 ^{しゅ}主よ、これらの祈りを主イエス・キリストのみ名によって^{ねが}お願いいたします。
アーメン

^{しゅ}いの 主の祈り

司式者 ^{すく}救い^{ぬし}主^{おし}キリストが^{いの}教えられたように祈りましょう

一同、主の祈りを唱える。

^{てん}天におられるわたしたちの^{ちち}父よ、

^なみ名が^{せい}聖とされますように。

^{くに}み国が来ますように。

^{てん}みこころが^{おこな}天に行われると^ちおり地にも^{おこな}行われますように。

わたしたちの日ごとの^ひ糧を^{かて}今日も^{きょう}お与え^{あた}ください。

わたしたちの^{つみ}罪をおゆるしくください。わたしたちも^{ひと}人をゆるします。

わたしたちを^{ゆうわく}誘惑におちいらせず、

^{あく}悪から^{すく}お救いください。

^{くに}国と^{ちから}力と^{えいこう}栄光は、^{えいえん}永遠にあなたのものです アーメン

感謝

司式者 ともに祈りましょう

すべてのものの源である神よ、あなたは遠く離れていたわたしたちを、み子との出会いをおして主の家に招いてくださいました。このあなたの愛に感謝し、み名をほめたたえます。あなたからいただいたみ言葉と恵みと平和を、わたしたちがすべての人びとと分かち合うことができますように。そして聖霊の導きにより、あなたの光でこの世界を照らす働きに与らせてください。またあなたがわたしたちに与えてくださった希望を、変わることなく保たせ、すべてのものがあなたのみ名をほめたたえることができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします アーメン

主とともに行く

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、わたしたちとともにありますように。アーメン

(Ⅱコリント 13:13)

派遣の唱和

司式者 神と人ともに仕えるために行きましょう

会衆 主のみ名によって アーメン

